

MOVE THE WORLD FORWARD

MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP

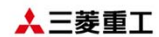


2019年度第1四半期 決算説明資料

2019年8月5日

三菱重工業株式会社

© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.



CFOの小口です。2019年度第1四半期決算の概要について説明します。

目次



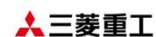
I. 2019年度第1四半期決算実績		II. 2019年度業績見通し	
・決算実績ハイライト	3	・業績見通しサマリー	13
・連結経営成績サマリー	4	・定常収益	14
・定常収益	5	・セグメント別内訳	15
・セグメント別内訳	6		
・連結財政状態	7	III. 補足資料	16-20
・主要財務指標／キャッシュ・フロー	8		
セグメント情報			
・受注高・受注残高	9		
・売上収益	10		
・事業利益	11		

当社は2019年度から国際会計基準(IFRS16号)を適用しています。
有価証券報告書及び決算短信については、IFRS16号の遡及適用により2018年度の財務数値を修正表示しているため、本資料とは一部数値が異なります。
(本資料では過去の数値との比較を容易にするため、2018年度数値の見直しは行っておりません。)

今般、IFRS16号の適用によるリース資産のオンバランス化に伴い、四半期報告書及び決算短信については2018年度の財務数値を一部修正しています。本資料については、過去の数値との比較を容易にするため、2018年度の財務数値の修正は行っていません。

I . 2019年度第1四半期決算実績

2019年度第1四半期決算実績 ハイライト



- 通期見通しに対し順調に進捗。
→P4(連結経営成績サマリー)、P13(業績見通しサマリー)
- 受注高、売上収益、事業利益とも、前年同期を上回る。
→ P4(連結経営成績サマリー)、P6(実績セグメント別内訳)
- 受注高、売上収益は、GTCCや民間航空機が堅調に推移。
事業利益は、航空・防衛・宇宙セグメント(含むSpaceJet(MRJ))で改善。
→P9～11(セグメント情報)
- フリーキャッシュフローについては、営業債務、契約負債の減少により、
前年同期を下回るが、通期見通しに変更はなし。
→P8(主要財務指標／キャッシュ・フロー)
- 中間配当は前年度比10円増配の75円。
(年間では前年度比20円増配の150円の予定)
→P13(業績見通しサマリー)

今回の決算のハイライトはご覧のとおりです。

第1四半期の受注高、売上収益、事業利益は前年同期を上回っており、通期見通しに対して、順調に進捗しています。

第1四半期決算実績 連結経営成績サマリー



(単位: 億円)

	2018年度1Q (利益率)	2019年度1Q (利益率)	増減 (増減率)
受注高	7,071	7,502	+431 (+6.1%)
売上収益	9,061	9,193	+132 (+1.5%)
事業利益	(3.5%) 314	(4.4%) 404	+89 (+28.6%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	(1.7%) 150	(1.8%) 163	+12 (+8.7%)
EBITDA	(7.0%) 636	(7.7%) 712	+76 (+11.9%)
フリーCF	△968	△1,694	△725 -

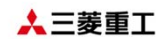
© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

4

受注高は、GTCC等が好調だったことにより、前年同期を431億円上回る7,502億円となりました。また、売上収益、事業利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益、EBITDAについても前年同期を上回りました。

フリーキャッシュフローについては、営業債務や契約負債の減少により、前年同期に対して725億円の悪化となりましたが、当社が進めているバランスシートの改善、資産回転率の向上という観点から見ると大きな問題はないと考えています。

第1四半期決算実績 定常収益



(単位: 億円)

2019年度1Q	定常収益 (利益率)	SpaceJet(MRJ) 投資	合計 (利益率)
受注高	7,502	—	7,502
売上収益	9,193	—	9,193
事業利益	(5.0%) 459	△54	(4.4%) 404
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	(2.3%) 214	△50	(1.8%) 163
EBITDA	(8.3%) 765	△52	(7.7%) 712
フリーCF	△1,363	△331	△1,694

© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

5

SpaceJet(MRJ)投資については、この第1四半期で331億円のキャッシュアウトがありました。そのうち、事業利益に対する影響額は54億円です。この差額は、バランスシートに資産として計上しています。

通期で1,000億円をキャッシュアウトし、そのうち800億円を費用として処理する見通しに変更はありません。

第1四半期決算実績 連結経営成績 セグメント別内訳



(単位: 億円)

	受注高			売上収益			事業利益		
	'18年度 1Q	'19年度 1Q	増減	'18年度 1Q	'19年度 1Q	増減	'18年度 1Q	'19年度 1Q	増減
パワー	1,944	2,315	+371	3,166	3,432	+265	251	192	△ 59
インダストリー & 社会基盤	4,340	4,406	+65	4,452	4,301	△ 150	148	144	△ 4
航空・防衛・宇宙	851	877	+26	1,506	1,521	+15	△ 121	94	+216
その他	186	175	△ 10	178	157	△ 21	27	62	+35
消去または共通	△ 251	△ 273	△ 22	△ 243	△ 219	+23	7	△ 90	△ 97
合計	7,071	7,502	+431	9,061	9,193	+132	314	404	+89

© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

6

受注高については、パワー、インダストリー & 社会基盤、航空・防衛・宇宙のいずれも前年同期を上回っています。パワーについては、スチームパワーの減少をGTCCの増加で補いました。

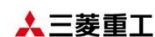
売上収益については、インダストリー & 社会基盤で減少していますが、これはターボチャージャーやエンジン、物流機器といった中量産品が昨年度に比べて低調だったことによるものです。航空・防衛・宇宙は概ね前年同期並みとなりました。

事業利益については、パワーは前年同期に対し59億円減益の192億円となりました。GTCCは前年同期を上回る実績を上げていますが、原子力の進行基準適用工事の工事進捗率が落ち込んだことによる影響などで、パワー全体では減益となっています。

インダストリー & 社会基盤は、商船や製鉄機械の損益が前年同期から改善しましたが、中量産品の売上収益が低調だった影響もあり、わずかに減益となりました。

航空・防衛・宇宙は、SpaceJet(MRJ)投資の事業利益への影響額が減少したこと、民間航空機Tier1事業が比較的堅調に推移したことなどから増益となりました。

第1四半期決算実績 連結財政状態



(単位: 億円)				
	'18年度末	'19年度1Q末	対前年度末 増減	
売上債権(営業債権、契約資産)	13,431	12,415	△1,015	
棚卸資産	7,392	7,839	+446	
その他流動資産	※10,769	※11,046	+276	※ 南アフリカプロジェクトに係る資産を含む ['18年度末 : 5,460億円] ['19年度1Q末 : 5,466億円]
固定資産	10,137	10,317	+179	
投資等	9,696	10,542	+846	
資産合計	51,427	52,161	+733	
営業債務	8,621	7,769	△852	
契約負債	8,752	8,112	△639	
その他	9,913	10,739	+826	
有利子負債	6,651	8,556	+1,905	借入金 △55 コマーシャルペーパー +1,960
資本	17,488	16,983	△505	配当 △218 四半期利益 +163
(うち親会社の所有者に帰属する持分)	(14,308)	(13,832)	(△476)	その他の包括利益 △421 他 (その他有価証券評価差額金等)
負債・資本合計	51,427	52,161	+733	

('19年度1Q末の資産、負債にはIFRS16号の影響(+968億円)を含む)

© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

7

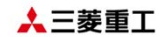
第1四半期末のバランスシートの資産合計は5兆2,161億円となりました。前年度末から733億円増加していますが、これまで簿外であったリース資産等を今般のIFRS16号適用に伴い、資産計上したことによる影響が+968億円含まれています。この影響を控除すると実質的には前年度末から資産合計は減少しています。年度末から第1四半期にかけて工事進捗に伴う棚卸資産等の増加が見られることから、当社の資産は増加する傾向にあります。珍しく減少しているのは、これまで進めてきたバランスシートの改善、効率化の成果と評価しています。

負債については、前述のとおり、営業債務、契約負債がいずれも前年度末から減少しています。これは、営業債務、契約負債が現金化し、流出したことを意味しますが、当面の資金調達につきましては、コマーシャルペーパーを中心に進め、借入金は増やさない方針です。

資本については、配当の実施やその他の包括利益の減少により、前年度末から減少しています。その他の包括利益には、円高の進行による海外資産の評価差額や有価証券等の下落による評価差額が計上されています。

なお、資料には記載していませんが、第1四半期のキャッシュ・コンバージョン・サイクルは、37日となっており、前年同期よりも改善しています。

第1四半期決算実績 主要財務指標／キャッシュ・フロー



主要財務指標

	'18年度末	'19年度 1Q末	対前年度末 増減	'19年度 見通し
自己資本比率	27.8%	26.5%	△ 1.3pt	－
有利子負債残高 (単位:億円)	6,651	8,556	+1,905	6,000
D/Eレシオ	0.38	0.50	+0.12	0.3

キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	'18年度1Q	'19年度1Q	増減	'19年度 見通し
営業CF	△ 555	△ 1,199	△ 643	－
投資CF	△ 412	△ 494	△ 82	－
フリーCF	△ 968	△ 1,694	△ 725	500

© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

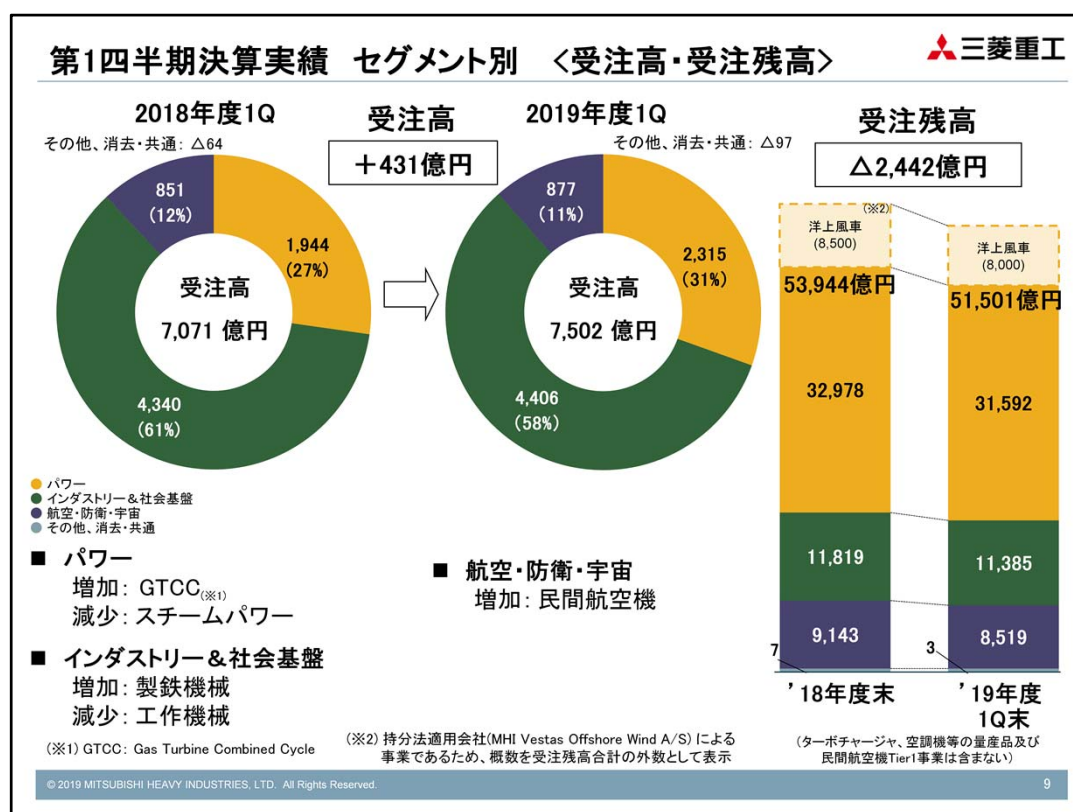
8

自己資本比率は26.5%となりました。例年、第1四半期末時点では、低位で推移することから特段問題視していません。

有利子負債残高は8,556億円と前年度末比では1,905億円増加していますが、前年同期は9,142億円であり、有利子負債の削減は進んでいます。

同じくDebt Equityレシオも前年同期の0.53から0.50へと低下しており、財務体質の改善は引き続き進んでいると理解しています。

キャッシュフローの状況は記載のとおりです。

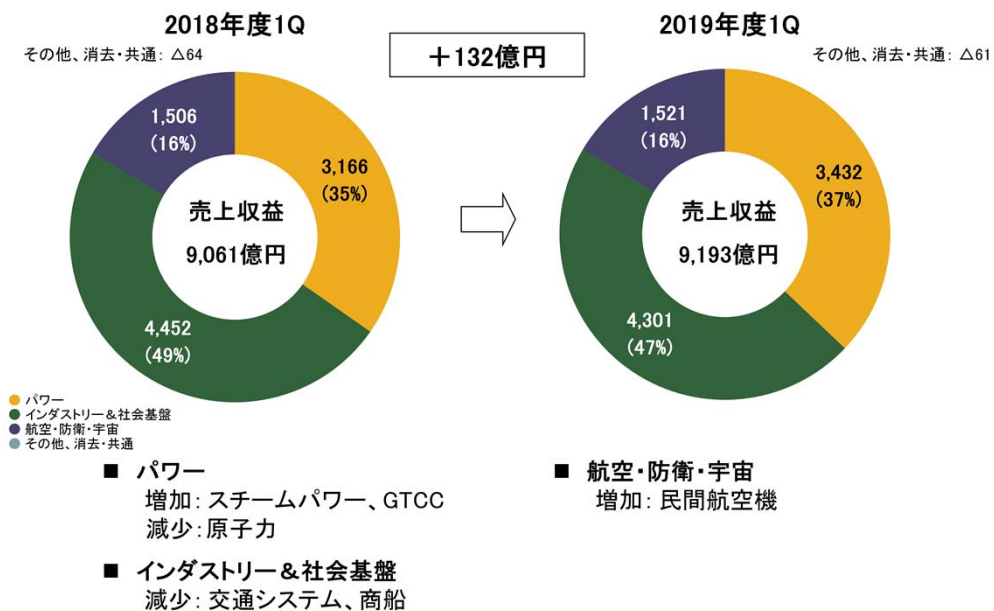


各セグメントの受注高の増減は、記載のとおりです。

受注残高は、ここ数年、売上収益が受注高を上回る状況が続いているため減少していますが、今後3年間程度については十分な受注残高を確保していると認識しています。

なお、MHI Vestas Offshore Windが手掛ける洋上風車の受注残高を参考値として記載しています。

第1四半期決算実績 セグメント別 <売上収益>

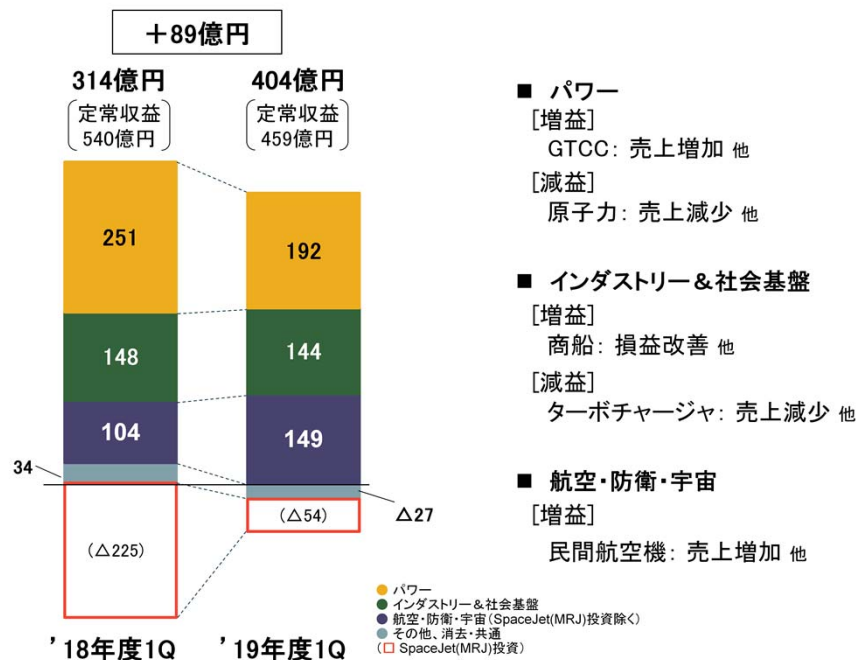
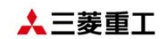


© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

10

売上収益については、記載のとおりです。

第1四半期決算実績 セグメント別 <事業利益>



© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

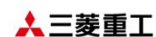
11

事業利益については、第1四半期はSpaceJet(MRJ)投資の減損がなかったこともあり大きく改善しています。その他の要素についてはP6での説明のとおりです。

Ⅱ．2019年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
従いまして、この業績見通しの上に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。
実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おください。
実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2019年度業績見通し サマリー



(単位: 億円)

	2018年度実績	2019年度見通し	対前年度増減
	(利益率)	(利益率)	(増減率)
受 注 高	38,534	43,000	+4,465 (+11.6%)
売上収益	40,783	43,000	+2,216 (+5.4%)
事業利益	(4.6%) 1,867	(5.1%) 2,200	+332 (+17.8%)
親会社の所有者に帰属する当期利益	(2.5%) 1,013	(2.6%) 1,100	+86 (+8.5%)
R O E	7.2%	8%	—
EBITDA	(7.6%) 3,116	(8.1%) 3,500	+383 (+12.3%)
フリーCF	2,430	500	△1,930
配当	130円 (中間65円/期末65円)	150円 (中間75円/期末75円)	【未確定外貨】 18億ドル 5億ユーロ

前回公表値(2019年5月9日)より変更なし

【前提為替レート】
1ドル = 110円
1ユーロ = 125円

© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

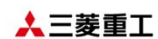
13

前年同期との比較では、円高の進行による金融収支の悪化が見られますが、基本的な収益力は改善傾向にあります。総じて、第1四半期の実績は通期の計画に対して、順調に進捗していると評価しています。

これらを踏まえて、受注高4兆3,000億円、売上収益4兆3,000億円、事業利益2,200億円、純利益1,100億円、EBITDA3,500億円、フリーキャッシュフロー500億円という通期の見通し及び期首に公表した配当額に変更はありません。

以上で2019年度第1四半期決算の説明を終わります。

2019年度業績見通し 定常収益



(単位: 億円)

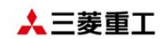
2019年度見通し	定常収益 (利益率)	SpaceJet(MRJ) 投資	合計 (利益率)
受注高	43,000	—	43,000
売上収益	43,000	—	43,000
事業利益	(7.0%) 3,000	△800	(5.1%) 2,200
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(4.4%) 1,900	△800	(2.6%) 1,100
ROE	8%	—	8%
EBITDA	(10.0%) 4,300	△800	(8.1%) 3,500
フリーCF	1,500	△1,000	500

- 定常収益におけるTOP_(※1)比… 0.8 : 1 : 0.6
(売上…4.3兆円、総資産…5.2兆円、時価総額…3.2兆円_(※2))

(※1) TOP: Triple One Proportion(売上:総資産:時価総額=1:1:1とする経営目標)

(※2) 時価総額は親会社の所有者に帰属する当期利益の16.7倍(資本コスト:6%)として算定

2019年度業績見通し セグメント別内訳



(単位:億円)

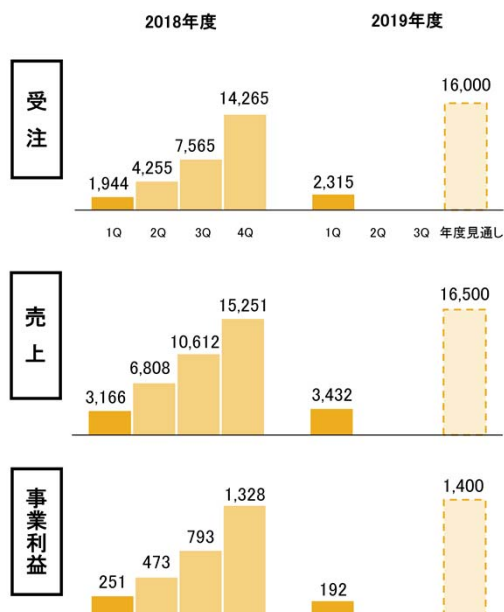
	受 注 高			売上収益			事業利益		
	'18年度 実績	'19年度 見通し	対前年度 増減	'18年度 実績	'19年度 見通し	対前年度 増減	'18年度 実績	'19年度 見通し	対前年度 増減
パワー	14,265	16,000	+1,734	15,251	16,500	+1,248	1,328	1,400	+71
インダストリー& 社会基盤	18,520	20,000	+1,479	19,078	19,500	+421	701	1,100	+398
航空・防衛・宇宙	6,106	7,000	+893	6,775	7,000	+224	△ 374	△ 200	+174
その他	733	1,000	+266	716	700	△ 16	359	50	△ 309
消去または共通	△ 1,091	△ 1,000	+91	△ 1,038	△ 700	+338	△ 148	△ 150	△ 1
合計	38,534	43,000	+4,465	40,783	43,000	+2,216	1,867	2,200	+332

Ⅲ. 補足資料

補足資料① 第1四半期決算実績 <パワー>



(億円、各期の数値は累計)



受注：対前年同期＋371億円の増加

増加…GTCC

減少…スチームパワー

【ガスタービン受注台数】

2018年度1Q：2台

	米州	アジア	EMEA(※)	その他	合計
大型	-	-	-	-	0
中小型	-	2	-	-	2
合計	0	2	0	0	2

2019年度1Q：6台

(※) EMEA: 欧州、中東、アフリカ

	米州	アジア	EMEA(※)	その他	合計
大型	-	1	-	-	1
中小型	3	-	2	-	5
合計	3	1	2	0	6

【ガスタービン契約残台数】

	大型	中小型	合計
2018年度1Q末	38	8	46
2018年度末	43	16	59
2019年度1Q末	41	14	55

売上：対前年同期＋265億円の増収

増加…スチームパワー、GTCC

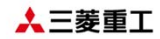
減少…原子力

損益：対前年同期△59億円の減益

増益…GTCC:売上増加 他

減益…原子力:売上減少 他

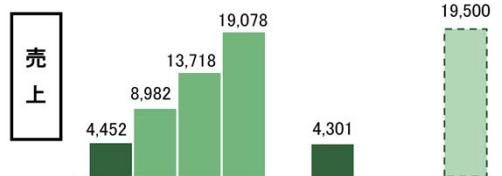
補足資料① 第1四半期決算実績 <インダストリー&社会基盤>



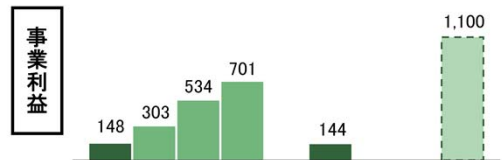
(億円、各期の数値は累計)



受注 : 対前年同期+65億円の増加
 増加…製鉄機械
 減少…工作機械



売上 : 対前年同期△150億円の減収
 減少…交通システム、商船



損益 : 対前年同期△4億円の減益
 増益…商船: 損益改善 他
 減益…ターボチャージャ: 売上減少 他

補足資料① 第1四半期決算実績 <航空・防衛・宇宙>



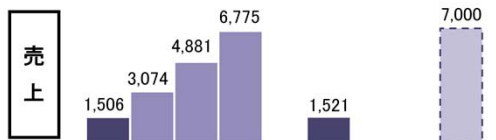
(億円、各期の数値は累計)



受注 : 対前年同期+26億円の増加

増加…民間航空機

【SpaceJet(MRJ) 累計受注機数】(2019年8月5日現在)
387機 (確定 213機、オプションおよび購入権 174機)

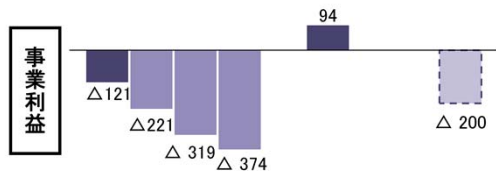


売上 : 対前年同期+15億円の増収

増加…民間航空機

【B777/B777X 引渡機数】
‘18年度(実績) : 48機 (1Q:11機、2Q:11機、3Q:11機、4Q:15機)
‘19年度(見通し) : 56機 (1Q:16機、2~4Q:計40機[予定])

【B787 引渡機数】
‘18年度(実績) : 148機 (1Q:37機、2Q:36機、3Q:33機、4Q:42機)
‘19年度(見通し) : 167機 (1Q:43機、2Q~4Q:124機[予定])



損益 : 対前年同期+216億円の増益

増益…民間航空機: 売上増加 他

補足資料② 参考データ



1. 研究開発費、減価償却費、設備投資

	'18年度 1Q	'19年度 1Q	(単位: 億円) '19年度 見通し
研究開発費	304	273	1,600
減価償却費	322	308	1,300
設備投資	274	316	1,700

2. 販売費及び一般管理費

	'18年度 1Q	'19年度 1Q	(単位: 億円)
販管費	1,319	1,348	

3. 為替レート(売上計上平均レート)

	'18年度 1Q	'19年度 1Q
USドル(円/USドル)	108.7	110.9
ユーロ(円/ユーロ)	129.9	124.5

4. 海外地域別売上収益

	'18年度1Q	'19年度1Q	(単位: 億円)
アジア	1,634 (17%)	1,706 (19%)	
北米	1,556 (17%)	1,777 (19%)	
欧州	1,089 (12%)	873 (9%)	
中南米	340 (4%)	341 (4%)	
中東	329 (4%)	240 (3%)	
オセアニア	57 (1%)	38 (0%)	
アフリカ	50 (1%)	179 (2%)	
合計	5,058 (56%)	5,158 (56%)	

※ ()内は構成比

MOVE THE WORLD FORWARD

**mitsubishi
heavy
industries
group**

© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.